

令和6年度第1回一関小・桜町中学校学校運営支援協議会(仮称)

日時：令和6年5月17日(金)

13:30～15:30

会場：桜町中学校

< 次 第 >

委任・委嘱状交付

- 1 開 会
- 2 校長挨拶(勝部校長)
- 3 各学年の学習の様子を参観
- 4 学校運営の基本方針について(各校長)
- 5 児童生徒の状況(副校長)
- 6 学校運営支援協議会について(菅原校長)
- 7 役員互選(会長1人・副会長3人)
- 8 「地域とともにある学校」づくりについて
- 9 閉 会

出席者

【学校運営支援協議員】

1	武田 勝郎		
2	伊藤 文男		
3	齋藤 宏一		
4	百々 正博		
5	千葉 美佳子		
6	千田 広子		
7	阿部 徹		
8	菅原 照之		欠席
9	関東 禎志		
10	小山 麻里子		

【学校職員】

1	菅原 正樹	一関小学校 校長
2	勝部 孝行	桜町中学校 校長
3	柳原 和歌子	一関小学校 副校長
4	千葉 孝行	桜町中学校 副校長
5	工藤 雅巳	一関小学校 主幹
6	三浦 聖子	地域コーディネーター

令和6年度 一関市立一関小学校 学校経営方針

1 学校経営の方針

憲法、教育基本法をはじめとする国の関係法規、岩手県及び一関市の教育方針に基づき、新しい時代の動向を展望しつつ、地域性や児童の実態を踏まえて、知徳体の調和のとれた児童の育成を目指して学校教育を推進する。

(1) 基本姿勢

人間尊重と教育愛を基盤として、児童一人一人の良さを見取り、認めながら個々の児童の個性や能力を最大限に伸張させる教育活動を展開する。

(2) 児童育成

児童一人一人が目標と希望をもって学習し、健康でたくましく生き抜く心と体を鍛え、自立心の基礎を養うと共に郷土を愛し、その発展を支える人材の育成を図る。

他者のために行った行為で他者が喜んでくれることが自己の喜びとなり、そのことが、自己肯定感の高まりにつながる児童を育成する。

2 本校の目指す姿

(1) 学校教育目標

学校教育目標	目指す子どもの姿
○ よく学び 工夫する子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道を立てて考え、根拠を話すことができる子ども ・自分の思いを相手に伝わるように話す子ども ・生きて働く知識・技能を身に付けた子ども ・学んだことを様々な場に生かそうとする子ども
○ 健康で 明るい子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい返事や挨拶ができる礼儀正しい子ども ・失敗を恐れず前向きに取り組む子ども ・健康で安全な生活を送るため、自ら判断し行動できる子ども
○ きまりを守り 助け合う子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活のルールを意識し行動できる子ども ・決められた時間や時刻を進んで守る子ども ・自他の個性を認め、励まし合い助け合う子ども
○ 責任をもち やりぬく子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事を、責任をもってできる子ども ・みんなのために進んで行動できる子ども ・めあてに向かって根気強くがんばる子ども

(2) 目指す学校像

明るく活気があり、充実した授業や諸活動が展開され、児童に毎日の登校を心待ちにさせることができる学校

(3) 目指す教職員像

教育実践者としての使命感をもってひたむきに研修に励み、授業改善に積極的に取り組み、児童の望ましい成長に指導力を発揮し、勤務校に誇りをもてる教職員

- ・子どもに寄り添い、子どもと共に成長する教職員
- ・子ども、保護者との信頼関係を基本とする教職員
- ・謙虚で思いやりがあり、協働する教職員
- ・自らの使命を自覚し、常に研修や実践に励む教職員
- ・歴史と伝統に学び、新たな創造に努める教職員

3 本年度経営の重点と努力目標

(1) 「いわての復興教育」の実施

- ア 「自分の命は自分で守る」を基本に防災・安全について意識し、行動しようとする態度を育てる。
- イ 「生きる」「かかわる」「そなえる」を教育活動全体に位置づけ、指導の充実を図る。

(2) 基礎学力の定着と学力の保障

- ア 「児童の学力は授業で」を基本とし、常に授業改善を心がけ授業の質の向上をねらう。
 - ① 「問い」や「思い・願い」を引き出した課題を設定し、児童を軸とした「分かる授業」の確立を図る。
 - ② 諸調査の問題が今求められる学力の姿の一つであることを踏まえ、指導の工夫・改善に取り組む。
 - ③ 誤答や類題の効果的な活用及び日常とのつながりの意識化。
 - ④ 思考過程や表現方法を振り返り、自ら課題を見付け問題を解決する思考方法を身に付ける。
- イ 「ことばの時間」「陰山メソッド」の在り方を探求し、実践する。
- ウ 大型提示装置とタブレットを使った授業について研修を積み、共通理解を図る。

(3) 学級・学年経営の充実

- ア 学級・学年目標を設定し、目標達成に向けて取り組む、努力する過程を大切にする。
- イ 明るくあいさつ、丁寧な言葉遣い、響く歌声、美化等による望ましい教育環境を形成する。
- ウ 個の状況を把握し、児童の発達段階、目的に合致した学級・学年経営を重視する。
- エ 客観的な調査（Q-U）等を効果的に取り入れながら、望ましい学級集団を育成する。

(4) 児童の実態に即した研究課題の設定とその研修を展開する。

- ア 国語科・算数科は、学習指導要領の目標に即した授業研究をさらに深め、学力向上に直結した校内研究を充実させる。
- イ 各種研修会、講習会、研究会へは可能な限り積極的に参加していく。

(5) 個を生かす指導と評価の充実に努める。

- ア つまづきの予想を含めた指導や事後の意図的な指導を充実させる。
- イ 振り返りシート（ノート）や小テスト等での評価を随時行いながら、個を生かす授業を充実させる。

(6) 生徒指導の充実を図る

事故や問題行動等への対応だけに終始しない積極的、開発的な生徒指導を推進する。

- ア 生徒指導の三機能である「自己存在感の育成」「共感的人間関係確立」「自己決定の場づくり」を取り入れた学級経営、児童会活動に取り組む。
- イ 保護者からの訴えと保護者へ報告するレベルの事案について、迅速に情報共有し組織的に対応する。
- ウ 危機管理意識を醸成し、問題や課題に対して迅速にかつ組織的に対応する。
- エ SCの情報共有と連携の強化を図る。
- オ 学校生活の中で全校体制による規範意識の向上を図る。
- カ 異年齢集団での活動を取り入れながら、児童の社会性や望ましい人間関係を育成する。

(7) 豊かな人間性の育成

- ア あらゆる場を活用して、「人権感覚」を養う。
- イ 「特別の教科道徳」の時間の充実を図るとともに、道徳の全体計画の中で道徳性を育成する。
- ウ 読書指導への積極的な取り組みを進める。（ボランティアとの連携）

(8) 体力向上と健康づくり

- ア 体力・運動能力の向上に向け、日常の授業を工夫し年間を通して様々な運動に取り組む。
- イ 生涯体育の基礎として運動の楽しさを習得させる指導を推進する。
- ウ 健康づくりのための環境整備と安全確保に努める。
(食育指導の充実、安全な生活のための指導の充実、疾病の予防と早期治療の奨励等)
- エ 感染症対策のための情報の入手・共有を行い、迅速な対応を行う。

(9) 特別支援教育の充実

- ア 障がいをもつ児童の困り感を見とり、個の発達に合わせた支援計画を作成し指導する。
- イ 特別支援コーディネータを中心に特別支援教育に関する校内研修の充実を図ると共に、通常学級との望ましい交流の在り方や、特別支援学級の役割について探る。
- ウ 通常学級においては、ユニバーサルデザインを取り入れた学級経営、教科指導を推進するとともに、特別な支援を必要とする児童とその保護者へのアプローチにも力を入れる。
- エ 特別な支援を必要とする児童の情報について、6年間にわたり円滑に引き継げる体制を整える。
- オ 教育委員会をはじめ他の教育機関との効果的な情報共有を図る。

(10) 家庭・地域との連携

- ア 児童の安全確保に向けた協力体制の確保に努める。
- イ 児童の教育について相互理解、連携を深める。
(同一話題を共有できる通信等による情報の発信)
- ウ 地域の素材・人材の活用により体験学習の充実を図る。
(教育的見地からの地域素材の教材化、地域の人材の把握と活用による効果的な授業の展開)
- エ 目標達成型の学校経営を実現させるため、常にPDCAサイクルを意識した学校評価を定期的に実施し、地域や保護者と情報共有を行う。

(11) ボランティアや外部機関を活用した学びの充実と学校外への活動の場の拡大

- ア ゲストティーチャーを効果的に活用する
- イ 出前授業や出前講座等を積極的に活用する。
- ウ 学校以外での活動の場を児童や保護者に情報提供する。



令和6年度

関小学びフェスト

一関市立一関小学校

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる、心身ともに健康な子ども



よく学び工夫する子ども

健康で明るい子ども

きまりを守り助け合う子ども

責任をもちやりぬく子ども

めざす子ども像

- ・筋道を立てて考え、根拠を話すことができる子ども
- ・自分の思いを相手に伝わるように話す子ども
- ・生きて働く知識・技能を身に着けた子ども
- ・学んだことを生かそうとする子ども

- ・明るい返事や挨拶ができる礼儀正しい子ども
- ・失敗を恐れず前向きに取り組む子ども
- ・健康で安全な生活を送るため、自ら判断し行動できる子ども

- ・集団生活のルールを意識し行動できる子ども
- ・決められた時間や時刻を進んで守る子ども
- ・自他の個性を認め、励まし合い助け合う子ども

- ・自分の仕事を、責任をもってできる子ども
- ・みんなのために進んで行動できる子ども
- ・めあてに向かって根気強くがんばる子ども

学校の到達目標

めざす子どもを実現するために、関小では次のような到達目標を決めて取り組んでいます。

- ◎学力向上をめざします
 - …各種(国、県)調査で県比、全国比目標105
- ◎わかる授業を目指します
 - …児童の肯定的評価目標85%
- 《取り組み》
 - ① 基本的な学習過程を定着させ、自分の考えを表現できる授業に努めます。
 - ② 関小メソッド(音読・漢字・計算)を効果的に取り入れ、集中力と基礎力を高めます。

- ◎「進んで(先に)挨拶・張りのある声での返事・靴そろえ」ができるようにします
 - …児童の肯定的評価目標85%
- ◎体力・運動能力を高めます
 - …全国比目標100(重点:持久走)
 - …児童の肯定的評価目標85%(外遊び等)
- 《取り組み》
 - ① できている学年や学級等を称賛し全体に広めていきます。
 - ② 日常的に様々な運動に取り組むとともに外遊びを奨励します。

- ◎ふわふわことばを使います。
 - …児童の肯定的評価目標85%
- ◎学校のルールを守ります。
 - (廊下歩行、チャイム席)
 - …児童の肯定的評価目標85%
- 《取り組み》
 - ① ふわふわことばを使っている児童を称賛・紹介し広げていきます。
 - ② 児童会や学年等の取組を通じて、望ましい学年・学級集団をつくります。

- ◎時間いっぱい清掃します。
 - …児童の肯定的評価目標85%
- ◎学級当番活動に責任をもって取り組みます。
 - …児童の肯定的評価目標85%
- 《取り組み》
 - ① 時間いっぱい「無言清掃」に取り組みます。
 - ② 自主的に活動できるよう取組を工夫します。

家庭と連携して

- ◎家庭学習を毎日続けます
- ◎適正なメディアコントロールを行います
 - ① ディスプレイ視聴は2時間以内にします。
 - ② 夜8時にはスマホ・タブレット・ゲーム機を保護者に預けます。

- ◎「早寝、早起き、朝ごはん」の習慣化を目指します。
 - 早寝 1~3年は午後9時まで、4~6年は午後9時半までに
 - 早起き 午前6時半までに
- ◎「先に挨拶、張りのある声での返事、靴そろえ」に取り組めます
 - 『おはようございます』『こんにちは』等

- ◎相手の心を温かくする言葉遣いをします
 - 『ありがとう』『大丈夫?』『ごめんなさい』『おかげさまで』等

- ◎家の手伝いを続けます。
 - ① 家での手伝いを決めます。
 - ② 毎日続けます。

外部機関や、地域の力を借りながら心豊かな子どもを育てます。

- 《外部機関を活用した学びの充実》
 - 1 人材、団体、自然、地域文化財、施設等の有効活用
 - 2 子どもたちの活動の場を広げるための情報発信

- 《学校運営支援協議会》
 - 1 積極的な教育活動への支援
 - ・学習ボランティアの活用
 - (図書館、各教科、読み聞かせ等)
 - 2 学校と地域で育てたい子ども像の共有
 - 3 地域への静寂部員と活動への積極的な参加要請

- 《通勤通学・徒歩・スクールバスによる安全な登下校支援》
 - 1 子ども見守りボランティアとの連携による、子どもたちの安全な登下校の確保や感謝の心、正しい歩行、挨拶などの公共マナーの定着
 - 2 子ども110番の家の確認と活用

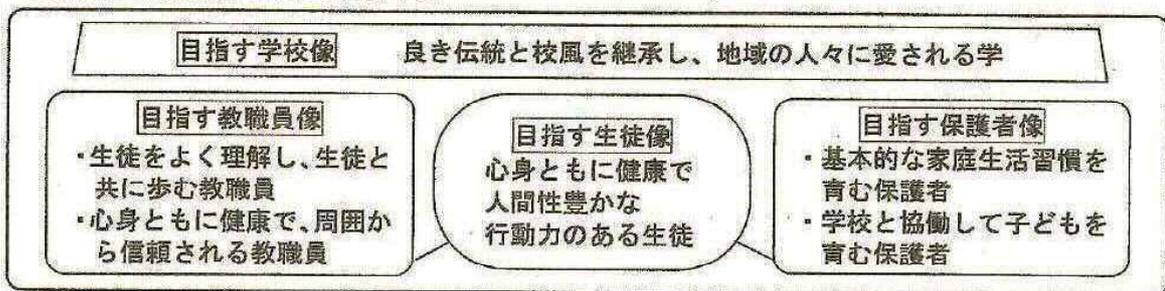


令和6年度 桜町中学校 学校経営方針

1 学校教育目標

<p>「知育」・「徳育」・「体育」の調和のある発達を図り、心身ともに健康で人間性豊かな行動力のある生徒の育成</p> <p>一 思慮深く創造性のある生徒・・・・・・・・・・知育 二 心豊かで思いやりのある生徒・・・・・・・・・・徳育 三 健康で明るく気力のある生徒・・・・・・・・・・体育 四 規律を重んじ、協力して実践する生徒・・・行動力</p>	<p>〈校訓〉（昭和31年2月21日制定）</p> <p>「真」 何が真実かを見究めるため、 一生懸命勉学に励もう</p> <p>「善」 善悪を見究める力をつけ、 正しいことを実行する力を養おう</p> <p>「美」 美しいものに感動する心をもち、 心身の美化に努めよう</p>
---	--

2 学校教育目標達成のための目指す姿



◎ 良き伝統と校風の継承・・・合唱、挨拶、授業の基本、コンプライアンス、師弟同行

3 学校経営目標

教職員が健康で生き生きと働き、生徒の様々な学びと成長を支援する組織を目指す。

言うまでもなく学校は、『子どもたちが学ぶところであり、様々な体験をし、成長するところ』である。教科の授業、生徒会・学年・学級活動、行事の取組、部活動等の教育活動を通して、人間としての生きる力の育成を図っていききたい。

また、学校は、『教職員が働くところであり、教職員が子どもたちの成長を支援するところ』でもある。意図的・計画的な教育活動の展開、適切な指導と振り返り（価値づけ）等を行い、子どもたちの人間力及び自己肯定感を高めていききたい。その際、目的と目標を明確に定め、健康で生き生きとやりがいを持って指導にあたることができる環境の整備を進めていききたいと考えている。

4 経営方針

(1) 確かな学力の育成と家庭学習の充実

- ア 「わかって定着する授業」「魅力ある授業」の創造（授業改善に向けた取組）
- イ 学習形態の工夫（少人数指導・習熟度別指導の充実、個別学習の実施）
- ウ 特別な支援体制の充実（特別な教育課程の実施、個に応じた支援体制の工夫）
- エ 家庭学習の充実と生徒の学習観の転換（「させられる」学習から「する」学習へ）

(2) 豊かな心のつながりを育む教育活動の推進

- ア いじめの無い学校づくり（調査の実施、学級経営の充実、生徒会との連動、情報発信）
- イ 心のサポートの充実（教育相談の実施、各種調査の活用、SC・SSWとの連携、個別支援の充実）
- ウ 道徳教育の充実（日常的指導と道徳の時間の指導）と読書活動の推進

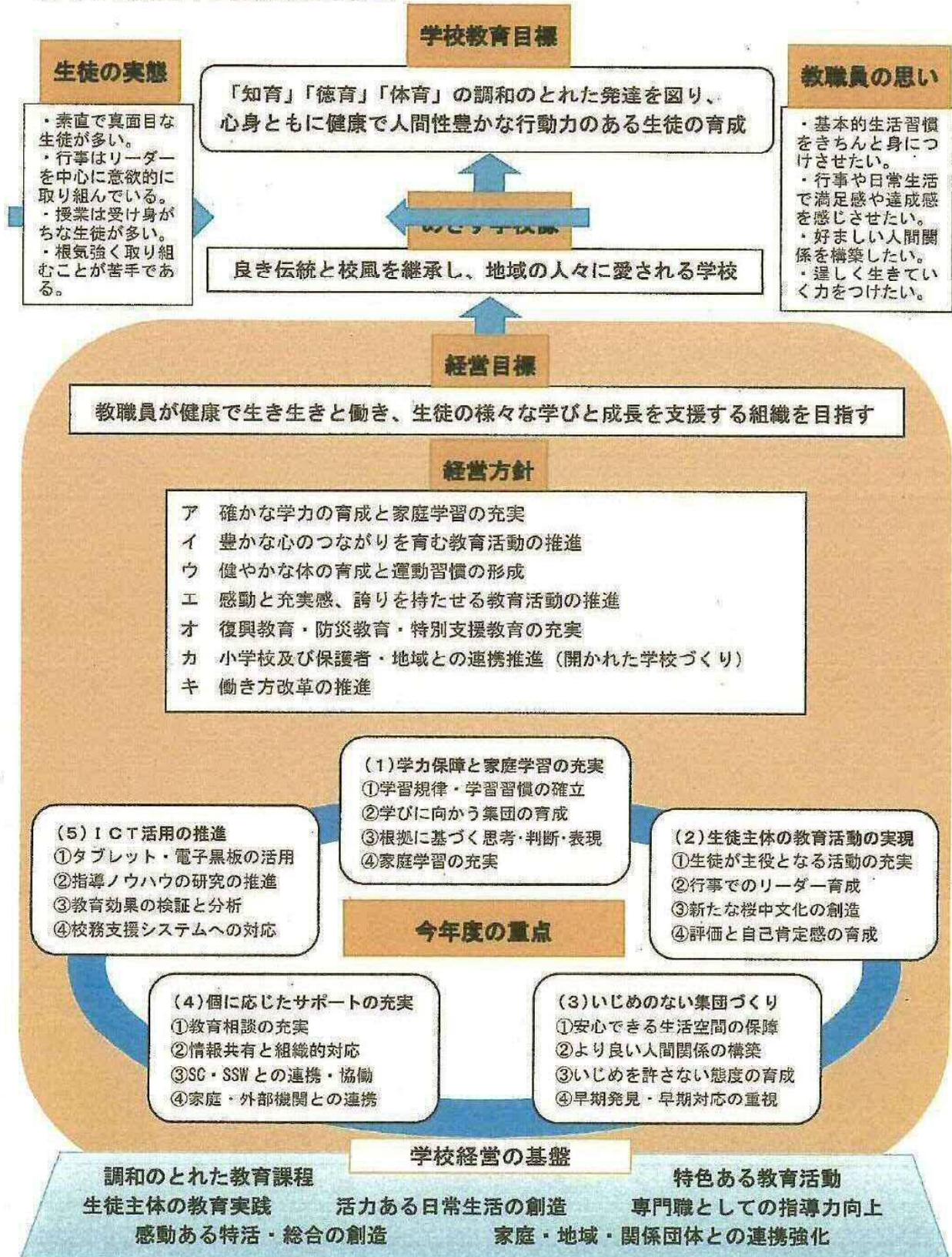
(3) 健やかな体の育成と運動習慣の形成

- ア 健康教育の充実（学校保健の推進、保健室経営の充実、諸検査の実施、疾病の予防）
- イ 体育指導の充実（保健体育授業の工夫、運動会取組の充実）
- ウ 運動の意欲化につなげる環境づくり（ヘルスアップタイム等の推進、特設部の運営）
- （４）感動と充実感、誇りを持たせる教育活動の推進
 - ア 生徒が主役となる活動の充実（「させられる」活動から「する」活動への質的転換）
 - イ 学校行事のねらいの共有と取組の充実（三大大行事「運動会・文化祭・卒業式」等）
 - ウ 伝統の継承と発展による桜中文化の創造 ⇒ 桜中〇大文化としての確立
- （５）復興教育・防災教育・特別支援教育の充実
 - ア 将来にわたって地域の復興・発展を支える人材の育成
 - イ 災害時に適切な行動・判断ができるような訓練の実施
 - ウ 個々の生徒の困り感の情報共有と組織的な支援体制の整備
- （６）小学校及び保護者・地域との連携推進（開かれた学校づくり）
 - ア 小中連携教育の積極的推進（連携すべき教育課題の焦点化と取組の具体化）
 - イ 校報及び学級・学年通信等の定期的な発行による教育活動の発信及び内容の充実
 - ウ 学校評価の実施及びその活用による経営改善、PTA活動の活性化
 - エ コミュニティスクールに向けた活動の推進（学校運営支援協議会及び関係団体との連携・協働）
- （７）働き方改革の推進
 - ア バランスの取れた校内分掌組織の確立及び実態に応じた柔軟な組み替え
 - イ 時間外勤務の縮減と業務の効率化（慣例的・通常的な業務の見直し、教育活動の精選）
 - ウ 校務支援システムの導入、ICTの活用等による執務環境の改善
 - エ 部活動方針の周知徹底と地域移行を見据えた部活動の在り方の検討

5 今年度の重点

- （１）生徒の学力保障と家庭学習の充実
 - ア 「授業の基本」等の定着による学習規律・学習習慣の構築
 - イ 根拠をもって思考・判断・表現する生徒と学びに向かう学習集団の育成
 - ウ 家庭学習の充実に向けた家庭との連携・協働による組織的な取組の構築
- （２）生徒主体の教育活動の実現
 - ア 生徒が主役となる活動の充実（「させられる」活動から「する」活動へ）
 - イ 生徒会活動や各種行事におけるリーダーの育成（特にも3年生、そして2年生も）
 - ウ 伝統の継承と発展による新たな桜中文化の創造（あいさつ・合唱・ ）
 - エ 活動に対する適切な評価と承認欲求の充足（自己肯定感、自己有用感の確立）
- （３）いじめのない集団づくり
 - ア 誰もが安心して過ごせる生活空間の保障（学級・学年経営の充実）
 - イ 生徒と教職員、及び生徒相互のより良い人間関係の構築（信頼関係の構築）
 - ウ いじめを許さない集団づくりと早期発見・早期対応の重視
- （４）生徒の困難さに応じたサポートの充実
 - ア 意識調査やアンケートを活用した教育相談の充実
 - イ 適応支援会議を核とした情報の共有と組織的な対応の推進
 - ウ SC・SSWの指導助言の活用とカウンセリングの実施
 - エ 家庭との情報共有及び信頼関係の構築、外部機関との連携
- （５）教育の質の向上に向けたICTの活用
 - ア タブレット及び電子黒板等の効果的活用と指導に関する研究の推進

イ PDCAサイクルによる教育効果の検証と分析
 ウ 校務支援システムの導入による業務効率化の推進
 【令和6年度桜町中学校経営方針の概要】



まなびフエスト

令和6年度 桜町中学校



〔明日を担う桜中生に 生きる力 を育てるためのプラン〕

- ★は本校教育目標
- ◆は具体目標
- は目標達成のための関連取組・内容

実践

行動力のある生徒の育成

★規律を重んじ協力して実践する生徒に

体

健康で明るく
気力のある生徒に

- ◆心身の健康 → 元気に毎日登校
- ◆生活リズム → 7時間睡眠で朝食
- ◆生命尊重 → 登下校の無事故
- ◆部活動 → 無断欠席ゼロに

徳

豊かな心の育成
思いやりのある生徒に

- ◆爽やかな挨拶 → 4原則の意識
※アイコンタクト、聞こえる声、スマイル、積極的
- ◆思いやりの心 → いじめの撲滅
- ◆ハーモニーの美 → 積極的に合唱
- ◆心を耕す読書 → 月2冊以上

知

確かな学力の育成
★思慮深く
創造性のある生徒に

- ◆授業の基本 → 3分前学習の徹底
- ◆家庭学習 → 平日2時間以上
- ◆各種検定 → 自己の可能性に挑戦
- ◆生活の自律 → 居間9レベルの徹底
※夜9時以降はスマホやゲームは居間に置き使わない

- 毎日の健康観察、規則正しい生活、食育指導、生と性の授業
- 教育相談の充実、皆勤賞の奨励
- 交通安全教室、登下校指導、危険箇所
の点検、実践的避難訓練の実施
- 異年齢集団による活動、自主的自治的
活動、個性の伸長、学校生活の充実

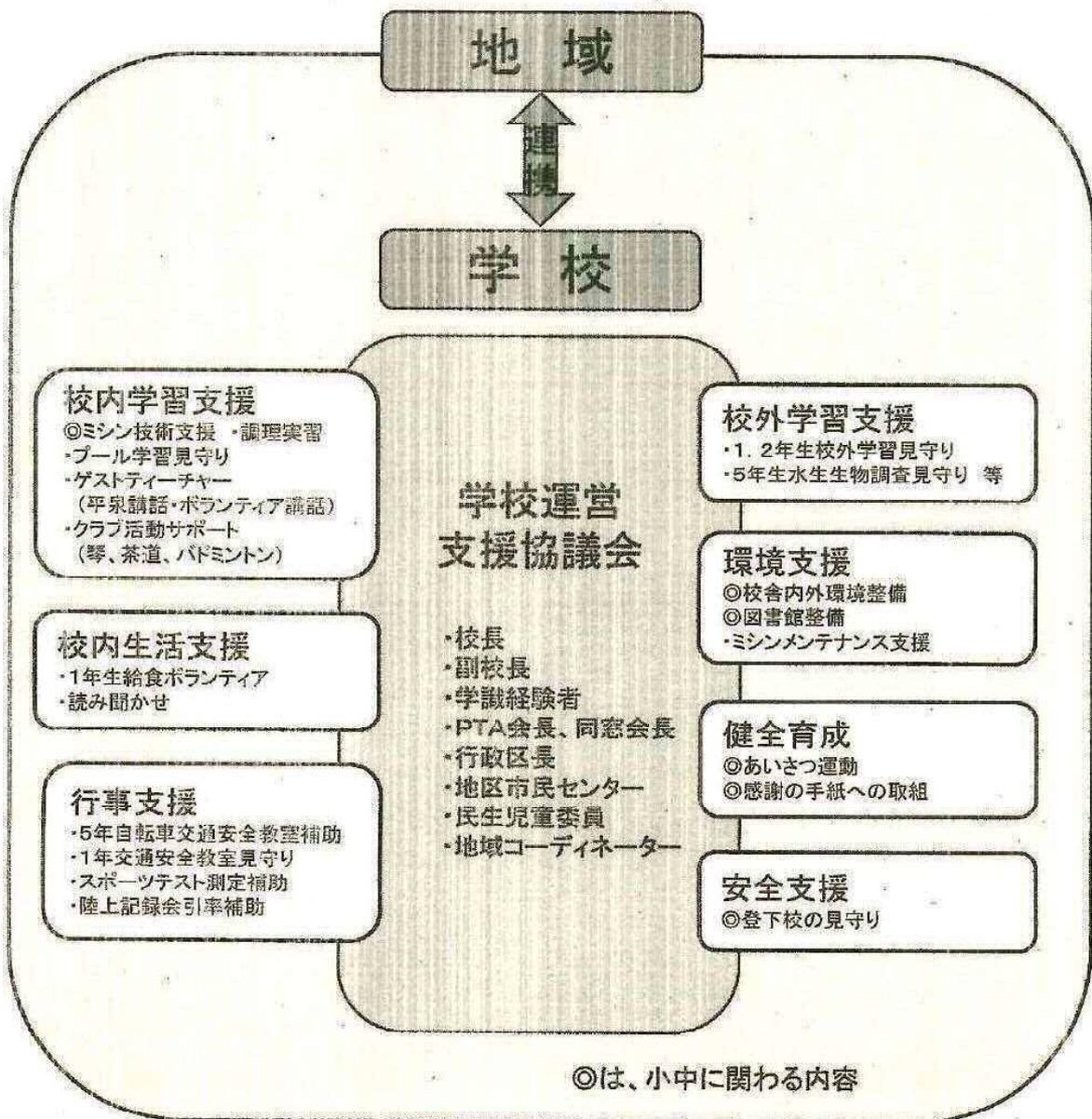
- 道徳教育の充実、授業の中で生徒指導、互いを認め合う雰囲気、自己肯定感の醸成、師弟同行の清掃
- 生徒会活動の推進、関係団体との連携
- 学級合唱の日常化、特設合唱部の取組
- 図書館の活用推進、朝読書の取組

- 「授業の基本」の徹底、自治的活動による学習集団づくり、授業改善の推進、授業と連動した家庭学習、家庭での生活リズム、宿題と自主学習
- 検定受験を通じた学習意欲の喚起、個に応じた学習の支援
- 情報モラル教育の推進、家庭との連携

学校・家庭・地域の連携、協働

一関小・桜町中 学校運営支援協議会

- 1 地域と連携した円滑で質の高い学校活動の実現
 - ・学校支援ボランティアによる教育活動等の補助
- 2 あいさつができる児童の育成
 - ・挨拶の輪を地域に広げる一斉おはようdayの取組
- 3 児童の安全向上と感謝の気持ちの育成
 - ・登下校見守りの方へ感謝の手紙



《 役員互選について 1 》

1 概要について

一関市学校運営支援協議会規則より

- ① 名称は「学校運営支援協議会」
- ② 目的は「学校と地域住民、保護者が協議することにより、地域住民等の学校に対する支援及び協力を促進し、学校と地域住民等の信頼関係を深め、持って学校運営の改善並びに児童生徒の健全育成を図る」こと。
- ③ 学校ごとに置くが小中学区で置くこともできる。
- ④ 委員は15人以内
例)・地域住民 ・保護者 ・校長 ・教職員 ・学識経験者 ・関係行政機関の職員 ・その他教育委員会が必要と認める者
- ⑤ 任期は4月1日～3月31日の1年 再任を妨げない。
- ⑥ 会長、副会長は委員の互選。

2 会議の主な内容

- ・学校運営基本方針の説明、承認
- ・学校運営状況の報告、学校への支援（ボランティア等）や協働推進などの意見交換（学校安全、授業、環境整備の支援 地域防災、読書活動の共同推進 等）

3 一関市における学校運営支援協議会設置のスケジュール

令和4・5年度は研究協力校による先行実施

(研究協力校:一関小 弥栄小 舞川小 舞川中 大東小 大東中 東山小 室根西小東小 室根中)

令和6年度から市内小中一斉実施

4 これからの会議の方向性・見通し

学校運営の基本方針の説明、承認

学校運営状況の報告

現在の地域ボランティアの活動の支援、意見交換

本校地域ボランティアの例:交通安全指導、図書館支援、教科(ミシン、調理実習等)支援

ベルマーク収集、校外学習見守り、体育支援(体力測定、プール監視)

クラブ活動支援(茶道、琴)等

※他校では地域の特性を生かした活動もしている。

郷土芸能伝承活動、放課後子ども教室、農作業体験 等

本日の会議では、学校運営の基本方針の確認

活動内容の計画、地域への周知・協力要請の方法の検討をしたい。

《 役員互選について 2 》

学校運営支援協議会メンバー

R6.5.17現在

番号	役職	氏名	備考(現職)
1	地区推薦	百々正博	
2	地区推薦	伊藤文男	
3	地区推薦	武田勝郎	
4	地区推薦	齋藤宏一	
5	地区推薦	千葉美佳子	
6	充て職	関東禎志	
7	充て職 校長	菅原正樹	一関小学校
8	充て職 副校長	柳原和歌子	一関小学校
9	充て職	三浦聖子	
10	地区推薦	千田広子	
11	地区推薦	阿部徹	
12	地区推薦	菅原照之	
13	充て職	小山麻里子	
14	充て職 校長	勝部孝行	桜町中学校
15	充て職 副校長	千葉孝行	桜町中学校

【R6役員】

会長	
副会長	

《 協議 》 司会:百々委員

●運営支援協議会の名称について

一関小・桜町中学校運営支援協議会(案)

●「地域とともにある学校」づくりについての検討

学校が目指したい3つの柱	地域との連携しながらの取組
① 地域と連携した円滑で質の高い学校活動の実現	地域ボランティアマネジメント
② あいさつができる児童生徒の育成	あいさつ向上の取組
③ 児童生徒の安全向上と感謝の気持ちの育成	安全見守りの可視化

(1) 一関小・桜町中学校が目指したい3つの柱と取組

(2) 学校と地域が連携しながら(パートナーとして)できる具体的な取組

①地域と連携した円滑で質の高い学校活動の実現では

② あいさつができる児童生徒の育成では

③ 児童の安全向上と感謝の気持ちの育成では

(3) 取組実施への見通し

・第2回学校運営支援協議会(一斉おはよう day について)

令和6年7月5日(金) 会場 一関小学校

・第3回学校運営支援協議会(中間まとめ・中間検証)

令和6年11月 日() 会場 一関小学校(授業参観あり)

・第4回学校運営支援協議会(年間まとめ・次年度計画)

令和7年2月 日() 会場 桜町中学校

【その他】

○一斉おはよう day 実施日

第1回 令和6年10月1日(火) 文書配布7月

第2回 令和7年2月4日(火) 文書配布11月

《 資料1 》

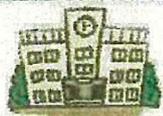
令和5年度学校支援ボランティア活動の実績及び計画について

一関小学校

① 活動実績

No.	活動日	内 容	参加人数
1	4月21日	5年生交通安全教室見守りボランティア	5人
2	4月21日	1年生交通安全教室見守りボランティア	3人
3	4月17日～28日	1年生給食見守りボランティア 10回	30人
4	5月10日～12日	2年生校外学習見守りボランティア (学校周辺)	3人
5	6月12日	1年生校外学習見守りボランティア (遊水地)	6人
6	6月28日	スポーツテスト計画ボランティア	19人
7	7月21日	マシンメンテナンスボランティア	1人
8	8月24日	1年生交通安全教室見守りボランティア	4人
9	8月25日	3年生交通安全教室見守りボランティア	7人
10	8月29日	2年生校外学習見守りボランティア (平泉 親自在王院跡)	3人
11	6月13日～7月21日 日・8月21日～9月13日	プール見守りボランティア 13回	15人
12	9月22日	1年生校外学習見守りボランティア (運動公園【テビッコぼうけん広場】)	2人
13	10月24日	6年生総合学習 平泉講話	1人
14	11月1日	3年生巴活動 ボランティア講話	1人
15	11月2日	1年生校外学習見守りボランティア (釣川公園)	3人
16	11月7日	2年生校外学習見守りボランティア (大町商店街)	5人
17	5月30日～11月14日 全9回	クラブ活動サポートボランティア (琴・茶道) 9回	15人
18	11月21日	2年生校外学習見守りボランティア (図書館)	2人
19	令和6年1月18日	マシンメンテナンスボランティア	1人
20	隔週火曜日	図書ボランティア (読み聞かせ) 15回	46人
21	毎週木曜日	図書ボランティア (図書室作業・ヘルマーク) 30回	70人
22	通年	登下校見守りボランティア	
計	延べ90日		241人

一関小・学校支援会報



編集：一関地域学校協働本部（一関市いきがいきづくり課）

学校支援活動事業 一関小学校 地域コーディネーター

令和5年度 第1号

令和5年5月31日発行

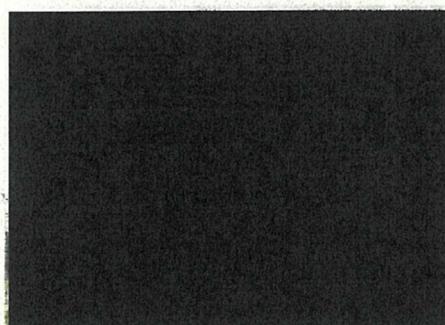
一関小学校は、地域と学校が連携・協働し子どもたちの学びや成長を支える取組を行っており、様々なボランティア活動が展開されています。

一関小学校のボランティア（現在133名）のみなさまのご協力をいただきながら、今年度も活動を進めてまいります。この学校支援会報を通じて、地域のみなさまに活動の様子をお伝えします。随時ボランティア募集をしておりますので、積極的に協力をお待ちしております。

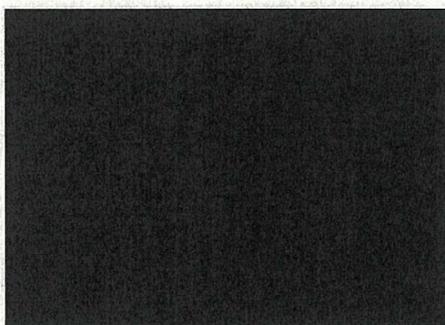
～1年生 給食サポートボランティア～

新1年生102名が元気よく入学しました。楽しみにしていた給食も始まりましたが、最初は準備や流れを覚えるのが大変です。そこでボランティアのみなさん（10名）にご協力をお願いし、4月17日（月）～28日（金）の2週間、交代しながら各クラスに1名ずつ入り、給食準備がスムーズに進むよう補助をしていただきました。

配膳室から教室まで重い汁缶や米飯を一緒に運んだり、汁物を上手に注ぐことがまだできない子どもたちのサポートや、食器をきれいに片付け配膳室へ戻すサポートを行いました。



1年1組の様子



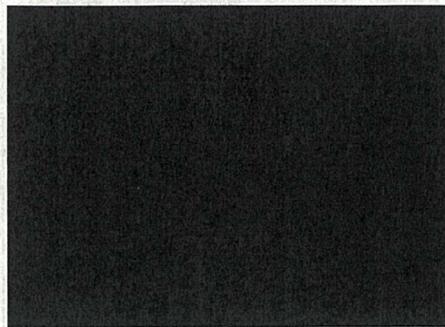
1年2組の様子



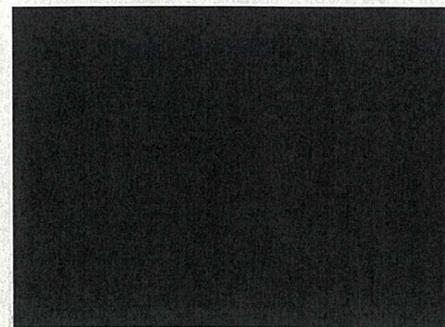
1年3組の様子



給食着に着替え中



おいしい給食をいただきます！

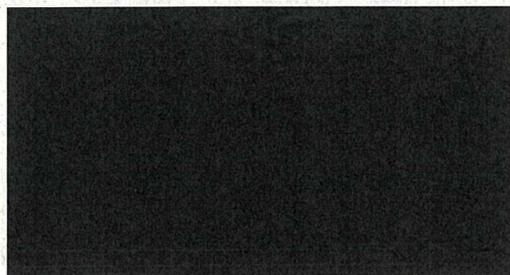


教室から配膳室へ片付けます

～交通安全教室見守りボランティア～

4月21日(金) 5年生

5年生100名は、自転車の乗り方について学びました。ボランティアのみなさんには、十字交差点での一旦停止の確認や手信号のやり方、自転車の走る位置等、一人一人確認していただきました。



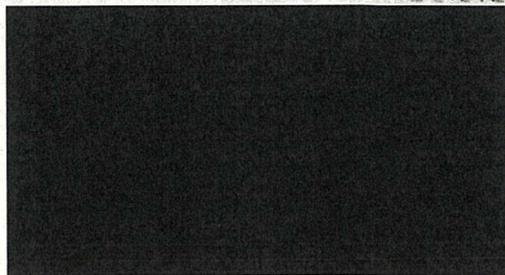
右へ曲がるポーズを確認中



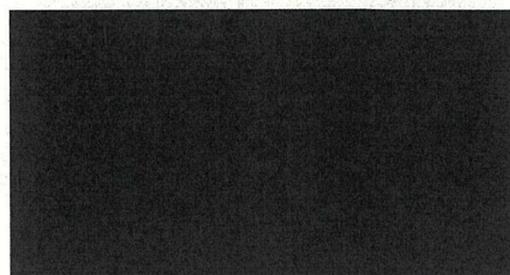
何度も繰り返し練習します

4月24日(月) 1年生

1年生は、公道で道路の正しい歩行の仕方について学びました。ボランティアのみなさんには、各交差点で待機し、子どもたちが止まって左右を確認しているかを見守り、声かけをしていただきました。



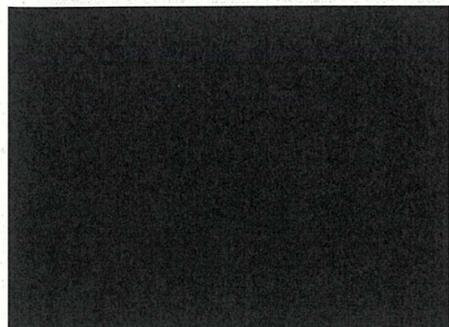
ボランティアさんと一緒に左右を確認



走らず、落ち着いて歩きましょう

～2年生 学校周辺探検サポートボランティア～

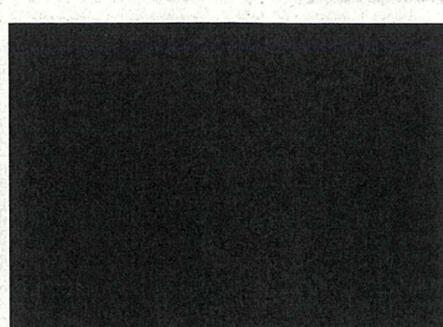
2年生92名は、5月10日(水)～12日(金)にかけて学校の周りを歩き、自分たちが暮らす地域の人や場所の働きについて学びました。学校周辺には歩道のない狭い道もあるため、子どもたちは長い1列になり歩きます。そこで、クラスごとにボランティアをお願いし、道中の安全と歩行のマナーを確認していただきました。



間に入って列を確認



いってきます!



子どもたちはよく観察しています

(学校支援ボランティアに関するお問い合わせは、一関小学校(☎23-5016)副校長または地域コーディネーター三浦まで)

一関小・学校支援会報



編集：一関地域学校協働本部（一関市いきがいきづくり課）

令和5年第2号

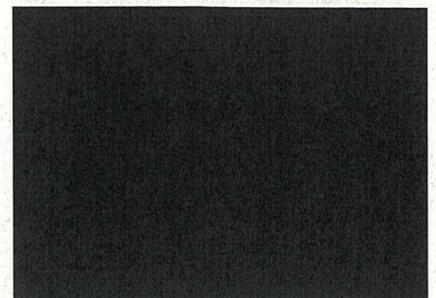
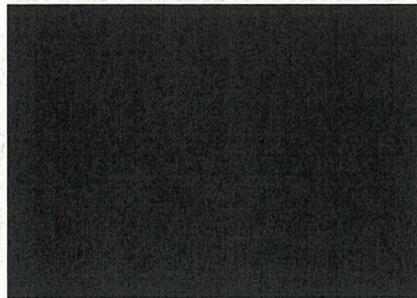
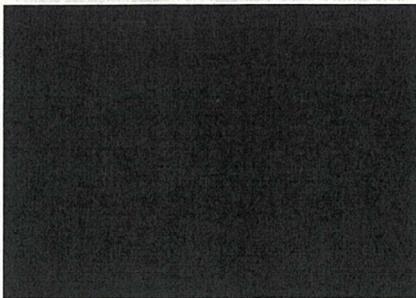
学校支援活動事業 一関小学校 地域コーディネーター

令和5年7月25日発行

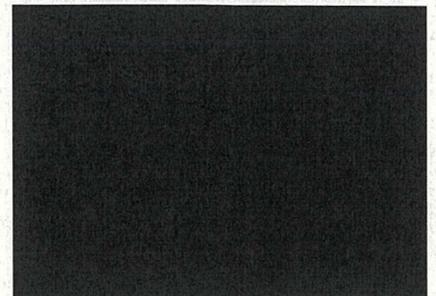
地域の皆さまと祝う☆一関小学校150周年

～ 記念事業に向けての装飾ボランティア ～

今年度、一関小学校は創立150周年を迎えました。7月1日（土）、保護者、児童の祖父母や地域の方々が自由に学校にお越しいただくイベントを開催しました。校内にフォトスポットを設けたり、体育館には歴史ある一関小学校の貴重な資料を展示したり、校庭にはキッチンカーもやってきました。当日を迎えるまで実行委員会やPTAの方々の準備も数多くありました。その中で、校舎内の飾りつけに使う花紙や折り紙作品の作品をボランティアのみなさんにお願ひしました。多くの方の力を借りて、この記念事業を功裏に終えることができました。



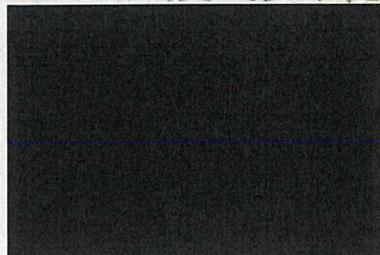
フォトスポットや昇降口、体育館等に飾るので、たくさんの花紙を作りました



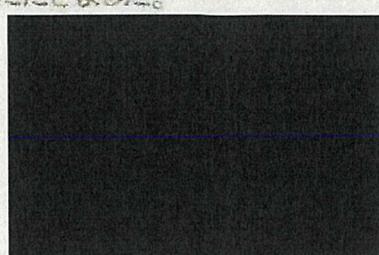
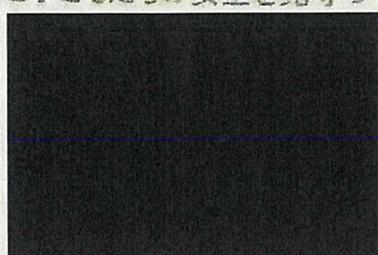
広い学校の壁面を明るく華やかに飾りつけできました

～1年生 校外学習(遊水地)ボランティア～

1年生は、6月12日(月)一関遊水地緑地公園へ出かけ、自然散策を行いました。広大な敷地内で102名の子どもたちが元気いっぱい活動しました。ボランティアのみなさん(6名)にご協力をお願いし、遊具広場やせせらぎ広場等に分かれ、しっかりと子どもたちの安全を見守っていただきました。



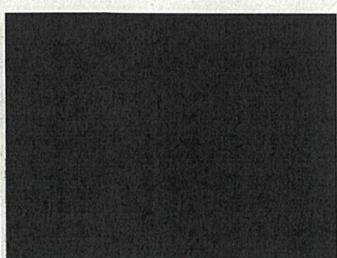
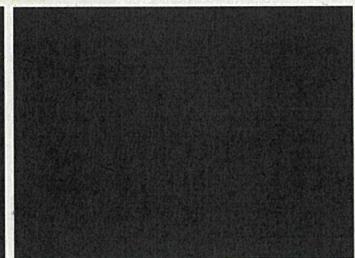
遊具の安全な使い方や順番を確認



一人一人に目を向けて安全を確認

～1年生 スポーツテスト計測ボランティア～

6月14日(水)、ボランティアのみなさん19名が3クラスに分かれ、反復横跳びと上体起こしのテストの計測サポートを行いました。正確なカウントや時間の短縮につながり大変助かりました。子どもたちは、「ありがとうございます！」と立派に感謝の気持ちを伝えていました。



上体起こし

「がんばれ！」力を振り絞る子どもたち

反復横跳び

どんどん前方に進んでいく子どもたち

～水泳学習見守りボランティア～

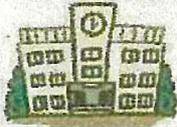
6月13日(火)より、水泳学習が始まりました。安全で充実した学習にするために、今年度もボランティアのみなさんのご協力をいただきながら進めています。プール全体を見渡しながら子どもたちの様子を見守り、感染対策への対応として消毒作業、更衣室の掃除も行っています。



更衣室の消毒

ゴミを取り除きます

一関小・学校支援会報



編集：一関地域学校協働本部（一関市いきがいきづくり課）

令和5年度 第3号

学校支援活動事業 一関小学校 地域コーディネーター

令和5年10月10日発行

～ 交通安全教室ボランティア ～

8月24日(木) 1年生

1年生は、入学から約半年経ち、2回目の交通安全教室を行いました。登下校にも慣れてきた頃ですが、再度、安全な歩き方について交通指導員さんやボランティアのみなさんに確認をしていただきました。「交差点では自分の目と耳で確認すること。前を行く人につられて進まないこと。」と教えてもらいました。

8月25日(金) 3年生

3年生は、初めての自転車教室を行い、道路での安全な乗り方について学びました。ボランティアのみなさんに各コース(直線コースやジグザクコース等)についてもらい、安全な運転ができているか見守っていただきました。ボランティアさんからは、「3年生は、ブレーキの使い方がまだ慣れていないようですね。」と気づきを知らせてもらいました。

自分の目でよく見てね

横断歩道の見守り

ジグザク運転は難しい…

乗り方は大丈夫？

☆連日の猛暑の中、総勢11名のボランティアのみなさんに、見守っていただきました。大変ありがとうございました☆

～ ミシンのメンテナンスボランティア ～

5・6年生(計207名)が家庭科で使うミシンの授業を前に、ミシン修理がご専門の小野寺徳平さんに調子を見ていただきました。昨年度、授業でフル稼働した後、ピクリとも動かなくなったミシンが4台あり、それらを夏休み期間を利用して、自宅で修理していただきました。全て元気に動くようになり戻ってきました。

故障の原因や取り扱い方法を丁寧に教えてもらったので、今後の授業に役立てることができそうです。大変ありがとうございました。

～2年生 校外学習ボランティア 平泉でザリガニ釣り～

2年生は、8月29日(火)平泉町の観自在王院跡に出かけ、敷地内にある池でザリガニ釣りや自然散策を楽しみました。

大きな池の周りをたくさん子どもたちが行き交う活動になるために、ボランティアのみなさんに、見守りや補助をしていただきました。ザリガニが隠れていそうなポイントと一緒に探したり、絡み合った釣り竿の糸をほどいたり、子どもたちがうっかり落とした餌やゴミを集めてもらったりと、細部に目を配ってもらいました。子どもたちは、たっぷりと釣りを体験することができ、ザリガニや自然に触れ、充実した学習になりました。



絡まった糸をほどくのは一苦労



横断中…車に気を付けて



ザリガニはどこかな

～1年生 校外学習(運動公園)ボランティア～

9月22日(金)、1年生は生活科の学習で一閑運動公園に出かけました。子ビッコぼうけん広場で、植物や生き物の観察を行いました。ボランティアのみなさんに、子どもたちの安全を見守っていただきました。



遊具での安全を確認



細やかなサポート

～水泳学習見守りボランティア～



6月13日(火)～9月13日(水)まで活動していた水泳学習ですが、安全に終えることができました。ボランティアのみなさんには、プールの監視をはじめ、ロッカーの消毒や掃除、ビート板等の片付けや整理整頓、様々な対応を積極的に行っていただきました。長期間のご協力、ありがとうございました。

～ボランティアのみなさんの声～

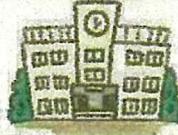
子どもたちの元気で明るい挨拶には、感心します。地域の子どもたちをサポートできる喜びに加え、こちら子どもたちから豊かな学びを得ることができています。



一関小・学校支援会報

編集：一関地域コーディネーター

一関市まちづくり推進部いきがいづくり課



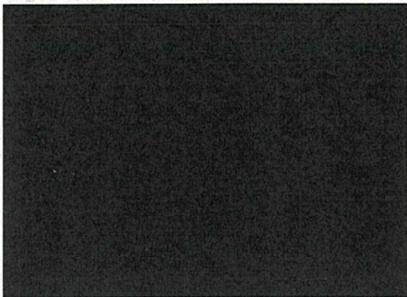
令和5年度 第4号

令和5年11月24日発行

～ 6年生 平泉文化遺産についての講話 ～

6年生は、平泉の世界遺産や歴史について学ぶため、平泉の文化遺産の見学に行きました。その事前学習として、10月24日(火)に、平泉文化遺産センター参与 千葉信胤さんをお招きし、講話をしていただきました。

見学の際の、建物や展示物の注目すべきポイントをはじめ、当時の人々の郷土愛や平和への想いについても説明していただき、子どもたちは深い学びを得ることができました。



「今を生きる私たちも、この遺産を大事に後世に引き継いでいきたいですね。」と、お話されました。

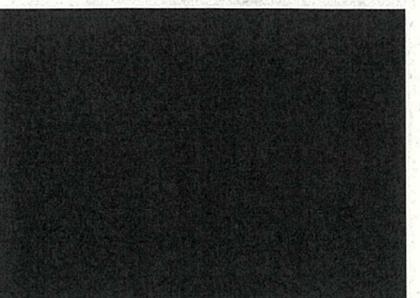
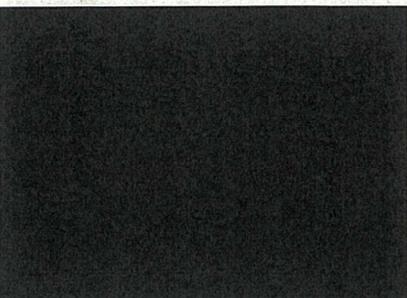
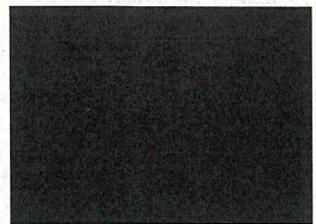


～ 3年生 「ボランティアについて知ろう」講話 ～

3年生は、「ボランティア」について学習をしています。11月1日(水)に学校支援ボランティアの菅原芳仁さんをお招きし、講話をしていただきました。

菅原さんが続けている「読み聞かせ」を通して、ボランティアを始めたきっかけや、どのような気持ちで活動をしているのか等、子どもたちに分かりやすく、興味を持てるように話してくださいました。

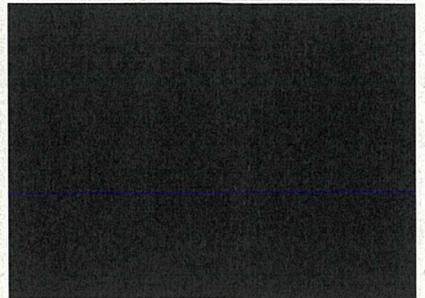
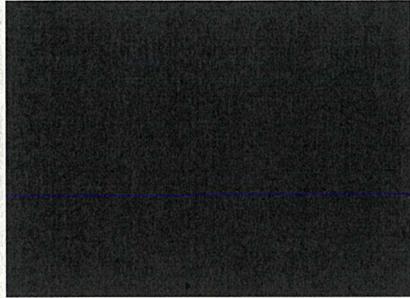
特別に絵本も教冊読んでもらい、子どもたちの楽しい笑い声が響き渡りました。



子どもたちにとって、身近でボランティアをしている方のお話を聞けることは、貴重な経験です。

～ 1年生 校外学習(釣山公園)ボランティア ～

11月2日(木)、1年生は釣山公園に出かけ、自然散策を行いました。公園には、急な坂道や狭い抜け道があります。子どもたちが安全に充実した活動ができるよう、ボランティアのみなさんには、各所に分かれ、しっかりと見守っていただきました。



落ち葉、木の実、虫… 自然に触れることができました。

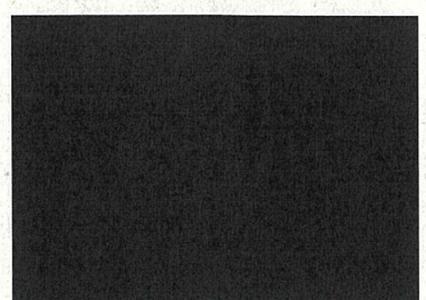
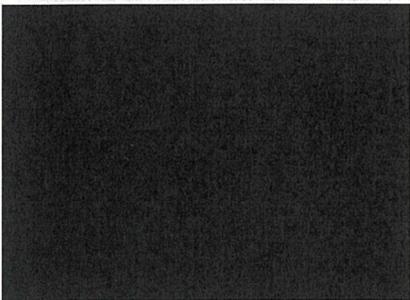


～ 2年生 大町商店街 お店調査 ～

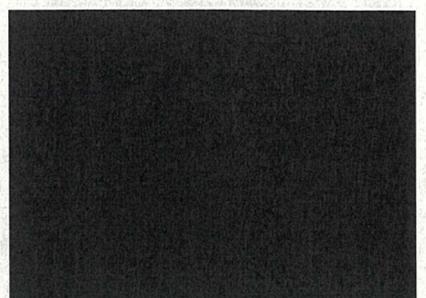
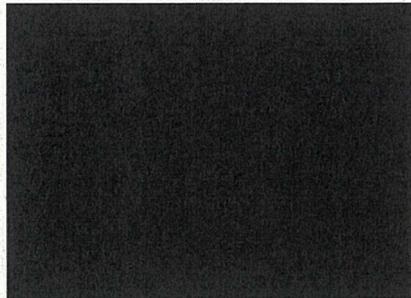
地元のお店について詳しく調べるため、2年生は、11月7日(火)に大町商店街訪問を行いました。子どもたちがグループごとに大町通りや大槻街通りをめぐると、ボランティアのみなさんには、各所に分かれて交通の安全やお店でのマナーについて見守っていただきました。

営業中のお忙しい中、商店街のみなさまには、地域の子どもたちのために快く取材の協力をいただきました。

ボランティアのみなさん、地域のみなさんに温かく見守られながら学習することができました。



子どもたちが緊張しながら取材する様子を、後ろからそっと見守ってもらいました。



交差点やT字路で見守ってもらい、取材先に向かいました。落ち着いて歩くことができました。

一関小・学校支援会報

編集：一関地域コーディネーター

一関市まちづくり推進部いきがいきづくり課



令和5年度 第5号

令和5年12月19日発行

～ クラブ活動 ～

茶道



茶道クラブでは、講師の小野寺善子さんにご指導いただいています。子どもたちは、お茶のたて方や所作を学んだ後、お茶会を開きました。校長先生をはじめ先生方に立派なお手前を披露しました。

小野寺さんは、「最近、畳の家や日本茶を飲むことも少なくなり、子どもたちにとって茶道を学ぶことは、日本文化を知る良い経験になると思います。」と話されていました。

琴



琴クラブでは、講師の千田広子さんにご指導いただいています。茶道クラブのお茶会の日には、別室で「さくらさくら」を演奏しており、上手に美しい音色で金をさらに盛り立ててくれました。子どもたちは、曲を弾ける喜びや作法を教わることができました。

千田さんは、「ここ数年は男の子が入部してくれることが増え、嬉しいです。みんなで三重奏をするのも楽しいですね。」と話されていました。

～2年生 校外学習(一関図書館)ボランティア～

2年生は、11月21日(火)一関図書館へ徒歩で出かけ、施設を支える職員のお話を聞き、館内の仕組みや利用方法を学びました。実際に本を借り、普段は入ることのできない施設の裏側を見学しました。

ボランティアさんには、見学の付き添いや本の検索方法のサポート等、様々な対応をしていただきました。子どもたちは、気に入った本を借り、安全に学校まで戻ることができました。



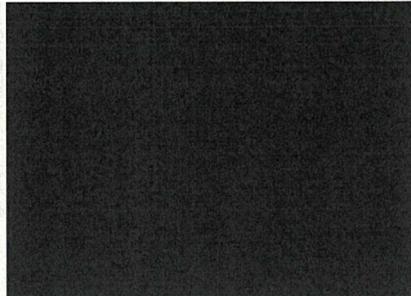
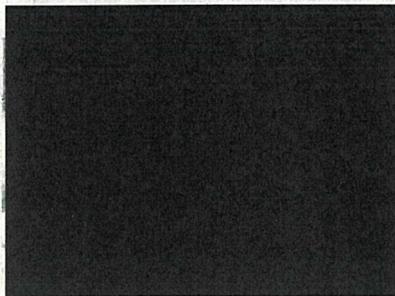
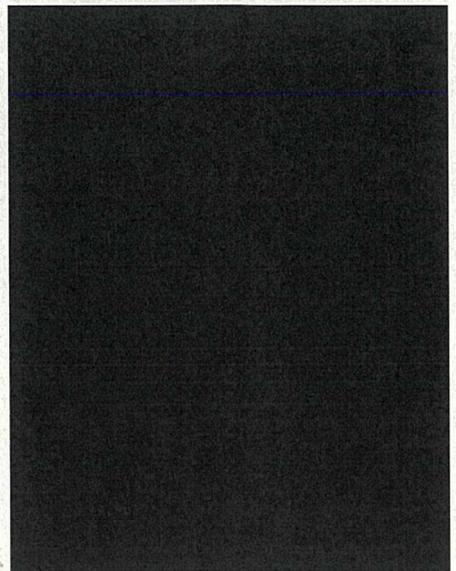
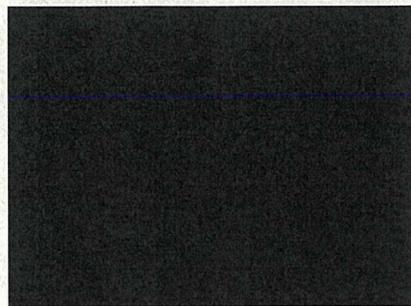
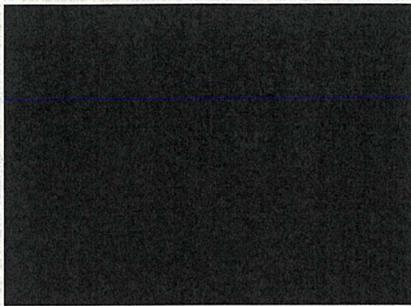
検索のやり方を一緒に確認

～読み聞かせ～

月に1度、屋休みを利用して、読み聞かせボランティアのみなさんによる低学年に向けた読み聞かせを行っています。

12月12日(火)は、クリスマス絵本の読み聞かせがありました。1年生は「ねずみくんのクリスマス」、2年生は「わすれんぼうのサンタクロース」の心温まる楽しいお話でした。

子どもたちは、童話、洋書、季節もの、笑いあふれるもの等、様々なジャンルの絵本をたくさん読んでもらいます。本の楽しさを知り、地域のボランティアさんとの関わりを経験することができています。



サンタクロースが絵本を読んでもくれました。

～掲示物～

図書ボランティアのみなさんは、年間を通して、楽しい飾りものを作成しています。

今年度は、つるし飾りやクリスマスの壁飾りを制作しました。飾り物を通して、子どもたちの想像力を豊かにし、それに関連した本を手取るきっかけになればうれしいという思いで行っています。



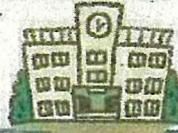
1 150周年記念事業で木管五重奏の演奏会がありました。そこで、「ブレーメンの音楽隊」の装飾を本と一緒に飾りました。

大きなクリスマス装飾図書室が一気に明るくなりました。

一関小・学校支援会報

編集：一関地域コーディネーター

一関市まちづくり推進部いきがいづくり課



令和5年度 第6号

令和6年2月28日発行

～ご協力ありがとうございました！～

☆今年度の活動を紹介します☆

4月	1年生 交通安全教室見守りボランティア	
	5年生 交通安全教室見守りボランティア(自転車)	
	1年生 給食見守りボランティア	全10回
5月	2年生 校外学習見守りボランティア(学校周辺探検)	
	クラブ活動指導ボランティア【琴・茶道】	全9回
6月	1年生 校外学習見守りボランティア(遊水地公園)	
	1年生 スポーツテスト計測ボランティア	
	水泳学習見守りボランティア	全13回
7月	ミシンメンテナンスボランティア(7月・R6年1月)	全2回
8月	1年生 交通安全教室見守りボランティア	
	3年生 交通安全教室見守りボランティア(自転車)	
	2年生 校外学習見守りボランティア(平泉町 観自在王院跡)	
9月	1年生 校外学習見守りボランティア(一関運動公園)	
10月	6年生 総合学習「平泉文化遺産について」講話	
11月	3年生 総合学習「ボランティアについて」講話	
	1年生 校外学習見守りボランティア(釣山公園)	
	2年生 校外学習見守りボランティア(一関大町商店街探検)	
	2年生 校外学習見守りボランティア(図書館)	
通年	読み聞かせボランティア 不定期 火曜日	全14回
通年	図書ボランティア【図書室作業】 毎週木曜日	全26回
通年	登下校見守りボランティア	25

～図書ボランティア～

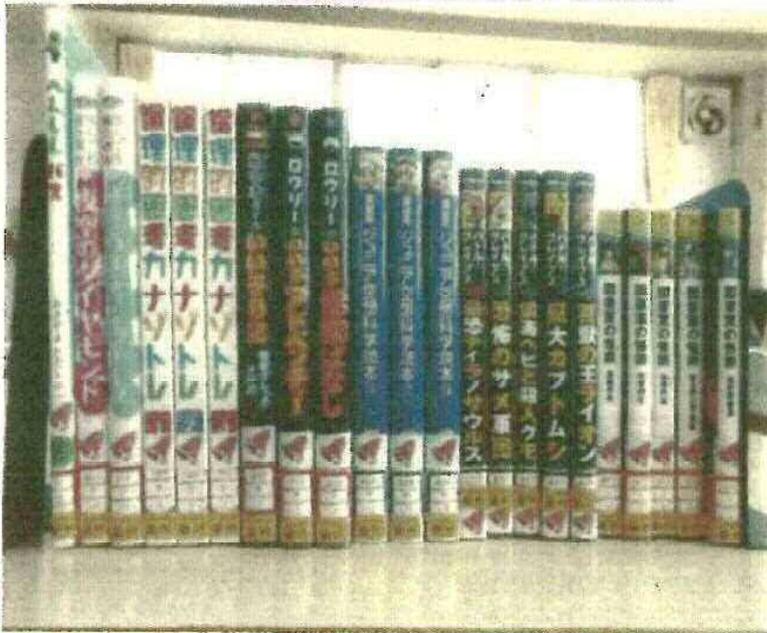
ベルマーク点数で図書を購入しました

今年度も、地域や保護者のみなさまから多くのベルマークや使用済みカートリッジが集まりました。さらに、旧老松小学校の児童のみなさんが集めていたたくさんのベルマークを一関小学校に譲っていただきました。みなさまのご協力により、たくさん回収することができました。

それらのベルマークを、ボランティア委員会の子どもたちが切り取り、図書ボランティアのみなさんが集計しました。今年度も多くの図書を購入することができました。



ご協力ありがとうございました。



～ 購入した図書 ～

- ・科学まんがサバイバルシリーズ(5冊)
- ・ジュニア空想科学読本(3冊)
- ・ロウリーのいい子シリーズ(3冊)
- ・図書室の怪談(5冊)
- ・論理的思考力アップ(3冊)
- ・なんでも魔女商会(2冊)
- ・へんしんバス
- ・ギネス世界記録2024



計 23冊 33,811円

※引き続きベルマークの回収を行っています。みなさまのご協力をお願いいたします。

～ 学校支援活動のご報告とお礼 ～

今年度も地域のみなさまと一関小学校が連携し、子どもたちのために様々な活動が行われました。たくさんの地域のみなさまに子どもたちを温かく見守っていただきました。

子どもたちは、活動を通じて地域とのかかわりを持ち、また「ボランティア」について理解を深めるきっかけにもなりました。

活動回数延べ90回、参加者延べ241名のご協力をいただき、充実した活動ができましたことに心より感謝申し上げます。

随時【学校支援ボランティア】を募集しています。

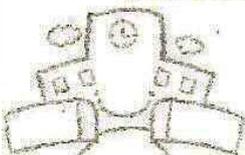


みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

【担当】 一関小学校 副校長または地域コーディネーター 三浦

26

TEL : 23-5016



一関小学校学校運営支援協議会

本校では、学校運営支援協議会を2年目となります。「3つの柱」をテーマに、今年度は、昨年度の活動と参加者を拡大し、学校の運営の改善並びに児童の健全育成を、地域と共に図りました。

令和6年度

令和6年4月15日発行

1つ目の柱～地域と連携した円滑で質の高い学校活動の実現～

地域コーディネーターが中心となり、活動回数述べ90回、ボランティア参加者241名の質の高い学校活動を実現していただいています。

4月12日(月)からおいしい給食がスタートしました。1年生は給食準備に慣れるまで、13名のボランティアさんにお手伝いいただき、ボランティアさんは一生懸命に取り組む子どもたちのそばで、手際よく配膳、片付けのサポートをし、おいしそうに食べるかわいい子どもたちのほほえましい様子にふれました。

給食
サポート

総合的な学習でサポート「なぜボランティア？」



3年生の総合的な学習で、いつも読み聞かせに来てくださる、菅原さんから、「なぜ、このボランティアをスタートし、続けているのか？」というボランティアの意味と生き方を関係付けて教えていただきました。

家庭科サポート

各学年 校外学習サポート

体育サポート

交通安全教室

調理実習サポート

2つ目の柱～あいさつができる児童の育成～

一関小学校は、自分からのあいさつに全校で取り組んでいます。コロナ禍の影響で地域で挨拶する体験が少なかったこともあり、今年度は、学校・地域・児童が朝に挨拶をする日「一斉おはようday」を年2回設定しました。保護者・地域と連携しながらあいさつができる児童の育成を進めました。

一斉おはようdayについて

実施日：11月1日と3月1日（年2回）

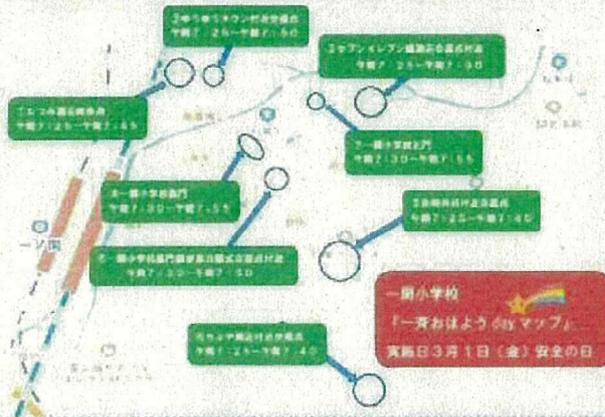
時間：登校班が通る時間帯

参加者：1回目(11/1)・・・地域113名

2回目(3/1)・・・地域123名

地域の方と挨拶ができることで、誰が自分達を見守ってくれているのかという、相手意識が向上しました。また、地域の方も自分の地域の子供達という意識が高まりました。

下の図8カ所と2行政区で挨拶を強化（合計10カ所）



3つ目の柱～児童の安全向上と感謝の気持ちの育成～

見守りをしてくださっている地域の方を、児童自身が意識できるよう、「お礼の手紙」を送る取り組みを、第2回一斉おはようdayと同時に今年度も行いました。昨年度は班長さんだけが感謝の手紙を書いて代表で渡しましたが、今年度は全児童(613人)が、自分で感謝の気持ちを文字にして手紙を書き、自分で地域の方に渡しました。

3月1日『第2回一斉おはようday』の様子

「いつも僕達の見守りをありがとうございます。これからも、よろしくお願いいたします。」と言葉を添えて、自分のお手紙を渡しました。

お手紙をもらった地域の方からは、「とても嬉しい気持ちになりました。お手紙大切にします。ありがとう。」という言葉が笑顔と共に児童に返ってきていました。

来年度は、桜町中学校と共に取り組む予定です。

教 成 館



関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るく子ども
- きまわりを守る、感謝の子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

「おはよう！」気持ちのよい挨拶を地域でも ～一関小 一斉おはよう day～

11月1日（水）一関小学校学校運営支援協議会主催による、「一関小一斉おはよう day」の取組を行いました。当日は霧が立ち込める肌寒い朝となりましたが、子供たちは校門と学校周辺のちがねのポイン্টに集った地域の方や保護者の皆さんと元気に挨拶を交わしながら登校しました。

あいさつポイン্টでは、総勢100名以上の方々が、今回の取組のために作成したバスタを着用したりの折り紙や手標を持ったりしながら子供たちに挨拶の声掛けをしてくださいまし

した。中には、当日都合が休みの、急遽参加してくださった方もいらっしゃいました。また、設定した挨拶ポイント以外に、自主的に通学路に立つて声掛けをしてくださった方もいらっしゃいました。

ある保護者の方からは「出勤したら会社の人から、朝一関小で何をしてたのか訊かれ、『おはよう day』の説明をしたら、車を運転する人にも気を付けることになり、安全のためにもとてもいいことですねと、話されたこと」を教えてくださいました。子供たちを地域で見守っていることを多くの方にも発信できたことをとてもうれしく思います。

子供たちの中には、挨拶が大切であることは理解はしていても、「大きな声での挨拶」を苦手としている子供もいます。学校では、まだ大きな声を出すことが苦手でも、「相手を見て軽く頭を下げることで、挨拶の気持ちを相手に伝えよう」と指導しています。

学校外でのあいさつについてハードルが高く十分に挨拶を返すことができない子供もいますが、学校では、これから相手に応える気持ちのよい挨拶について、子供たちへの声掛けを続けていきますので、今後とも温かく見守っていただければと思います。



教 成 務



関小だより

【学校教育目標】

- はく学び工夫する子ども
- 健康で明るくいる子ども
- 誇りある学び、助けあふ子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

地域の方へ感謝の気持ちを伝えた、第2回おはようday

3月1日(金)一関小学校学校運営支援協議会主催による、「第2回一関小「おはようday」」の取組を行いました。当日は、みぞれ混じりの生憎の天候となりましたが、前回は前回をまわる123人（事前の本加報告数、当日参加の力を加えるとそれ以上の人数となります）の地域や保護者の方々にご協力をお願いしました。子どもたちは、片手に水を持ちながらも、感謝のお手紙を、感謝の言葉を話せて、見守ってくださっている方々に手紙しました。子どもたちにとって初めての経験で迷ごつくこともありましたが、見守ってくださっている方々に温かく受け取っていただき、寒い朝でしたが心温まる朝となりました。

実施後、様々なご意見をいただきましたので、それらを次年度の取組に生かしてまいりたいと思っております。